

12月定例会

12月15日から的一般質問で秋元洋子議員が登壇し、観光物産館の北側入口自動ドア化、公園内動物園の悪臭等について、町長らに質問しました。

内容は次のとおりです。

秋元洋子議員

◎観光物産館マデニ一の玄関について

「東側の正面玄関より利用されている北側玄関について、ドアが狭いことから開閉時にお客さんの中にもケガをしたという例があるので入口を大きく広くし身体障害者のためのバリアフリーの自動ドアにできないか。また現在の正面玄関がそこに必要なか聞きたい。」

【答弁】

◆鳴海町長

「あすなる商店会からも要望書がきていることから状況を聞いたところ、観光バス等が

三味線会館のほうに止まる関係また斜陽館から帰る際には現在の正面玄関は全く使用されていないのと同然でほとんど青銀駐車場側の四枚引き戸式の一枚を開けて入っているが、

手を挟む人や狭いためすぼんではいる人がいることから四枚から三枚にして出入り口を広げてほしいとの要望がありました。またバリアフリーについては東側正面玄関で対応していることから、青銀駐車場側入口を自動ドア・バリアフリー化するためには風景観や通路の関係上無理なことから今の四枚戸を三枚にし入口を広げるために常任委員会に諮りながら商店会等と協議し前向きに検討したい。」

◎芦野公園内動物園について

「クマの部分について非常に汚くにおいもすると町民からの苦情があり対策を聞きたい。また、危険性のない動物に子どもたちが触れ合えるような放し飼いを考えていないか。」

【答弁】

◆鳴海町長

「ヒゲマの場合は毎日上からポンプで放水し掃除をしているが猿など危険性のある動物は中に入つての掃除は大変ら

しいが子どもたちに少しでも喜んでもらうように委託管理人にお願ひして掃除を徹底し少しでも悪臭を無くしながら現状のままで行きたい。」

◆企画観光課長

「福山邸の方に金網等で仕切っています。ウサギとヤギにポニーがいますのでウサギであれば子どもたちが中に入つて触れ合うことができますが普段は人がいませので配置となれば経費がかかりますので検討したい。」

◎福山邸周辺について

「福山邸周辺には個人名で植樹した桜が咲くような状況になつているのに散策しても通り過ぎるだけで休める場所がなく老人の方々から東屋設置の要望があり整備または有効活用する考えがあるのどうか聞きたい。」

【答弁】

◆鳴海町長

「動物園移転などの構想があったが多額経費から現在に至つており本年は日大相撲部合宿で水洗トイレ化され立派になつたので多額な投資は無理だができるならば花や木を植えて周辺をきれいにし東屋については新町建設計画で反映していきたいができるだけ早く建設したいと思つている。」

◎芦野公園駅トイレについて

「観光客から芦野公園駅トイレの苦情を言われた町民から普段でも風の向きで臭いがすごいことから金木町は観光で生きるために桜まつりのためにも芦野公園駅のトイレをどうするか聞きたい。」

【答弁】

◆鳴海町長

「芦野公園駅のトイレ改良は津軽鉄道の財政状況から無理だと考えられるので町として芦野公園駅は全国でも公園の中で一カ所だけの駅と聞いているのでできるならば補助・起債事業あるいは新町建設計画で生かし、存続を要望していきたい。」

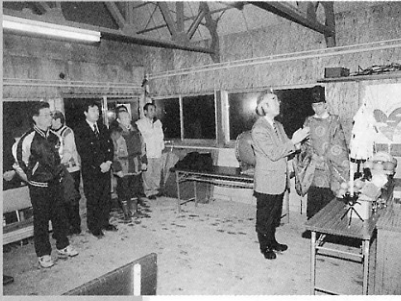
◆木下教育長

「観光客数名が芦野公園駅に降りたら駅内が葉っぱでいっぱい。トイレの悪臭がひどくイメージダウンしたとの苦情を津軽鉄道に伝えたところトイレは汲取り式なので臭いは抑えることができなく水洗化は財政上から厳しく撤去し、まつり時は簡易トイレ設置を考慮しており、また一つの構想として新町時には廃駅としまつり時は臨時停車場とすることも考えているとのことから近々町長と会い話し合うこととなつた。」

可 決 事 項

- 【議案第57号】平成15年度金木町一般会計補正予算(第7号)案
- 【議案第58号】平成15年度金木町国民健康保険特別会計(事業勘定)補正予算(第3号)案
- 【議案第59号】平成15年度金木町老人保健特別会計補正予算(第2号)案
- 【議案第60号】平成15年度金木町水道事業会計補正予算(第4号)案
- 【議案第61号】平成15年度金木町農業集落排水事業特別会計補正予算(第4号)案
- 【議案第62号】金木町交流施設条例案
- 【議案第63号】金木町課設置条例の一部を改正する条例案
- 【議案第64号】人権擁護委員の推薦の件

スキーシーズンに向けて安全祈願



12月18日、嘉瀬スキー場第一ヒュッテで関係者10人が出席して安全祈願祭が行われました。

出席者による玉串奉奠などの神事が厳粛の中で行われ、続いてお神酒による乾杯の音頭で木下教育長が「冬季間、児童生徒がスキーなどを親しみ技術が向上されることを願っています」とあいさつ。今シーズンの安全を祈願しました。

嘉瀬スキー場では、1月中旬から2月下旬までにナイタージュニアジャンプ教室や各大会に向けたポールレッスンを行うスキー教室にバッチテストなどが開催されます。

入院患者にクリスマスプレゼント

金木病院1階待合セロビーで12月22日、金木町童謡を歌う会(会長=小山内トシエ)と金木小学校吹奏楽部(顧問=鈴木伸一郎)によるクリスマスコンサートが開催されました。

童謡を歌う会38人が「月のさばく」など9曲、吹奏楽部48人が「イン・ザ・ムード」など9曲を披露し病院内は音楽ホールに様変わり。集まった入院患者らに音楽のプレゼントをしました。この後、杉山院長が「患者さんに励ましと感動を与え楽しい一時を過ごさせていただきました」と歌う会と吹奏楽部に感謝状を贈りました。



正月市でにぎわう



4回目となる金木町生き活き直売会(会長=秋元トシ)による正月市が12月28日、いつもなら役場前でしたが今年は観光物産館前で行われ買い求める人たちでにぎわいました。

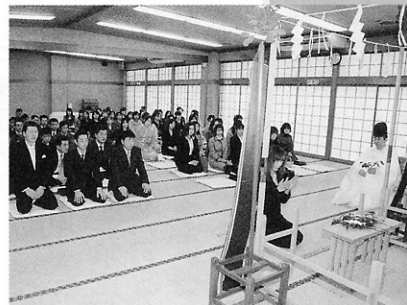
野菜、花、山菜に漬物や餅類などの農産加工品が並べられたテーブルには「いらっしゃいませ。一つ200円だよ」と会員の元気な声にお客が殺到。一人で買物袋4~5個を手にした人もいました。

今年一年の厄を払う

大厄を迎える男女が1月4日、中央公民館で「平成16年金木町合同厄払い」を行い一年間の降りかかる厄難を払い落としました。

今年は昭和38年4月2日から39年4月1日生まれの男性と、昭和47年4月2日から48年4月1日生まれまでの女性を対象で合わせて91人が参加しました。

式では、男女それぞれお払いを受けた後、参加者一人ひとりの名前が記された祝詞を神主が奏上。厳粛な雰囲気の中で代表者5人が玉串を奉奠し、厄を払いました。



パレードで火災予防を呼びかける



町消防団の新春火災予防パレードが1月9日、金木消防署を出発点として行われました。

この日集まった消防団員ら約40人を前に鳴海町長が「パレードで火災の怖さ恐ろしさと呼びかけ町民一人ひとりの自覚を促していただきたい」と、続いて須崎消防団長が「今日のパレードで町民に注意を呼びかけ今年一年火災のない町にしましょう」とあいさつ。この後、パレードでの注意事項の伝達を受けた団員らは消防車両9台に分乗しパレードを開始。町内各地でサイレンを鳴らしながら火災予防を呼びかけました。



凧づくりチャレンジ

1月11日、中央公民館事業の凧作り講習会が朝日町の金木津軽凧の会長福長勝義さん宅で開催され、参加した石戸谷優宗くん、薫政くんの兄弟が福長さんの指導で18日に行われる凧上げ大会に上げる半紙4枚分の津軽凧作りにチャレンジしました。

ねぶたが好きで、その絵に興味がある優宗くんと薫政くんは、持参の筆を手に外側から内側へと書き込む下絵を作り終えて「作って面白かった」との感想に、福長さんは「凧上げ大会に出て上げればもっと面白いから来てください」と言い、二人は「はい」と元気よく応えていました。

初げいこで汗を流す

農業トレーニングセンターで1月13日、金木柔道スポーツ少年団(監督=金本敬夫)の道場開きを行い一年間の健康と安全を祈願しました。

道場開きには幼稚園から小学生までの会員15人が参加。柔道着に着替えた子どもたちは神事を行い、お払いを受けて今年の活躍を誓っていました。

この後、早速初げいこを開始。金本監督らの指導を受け柔軟体操で体をほぐし、元気よく掛け声を出しながら投げ技や寝技の練習をして汗を流していました。



広報の「見出し」で見る当時のできごと

第9号

昭和28年1月5日



- 世論調査も「強制執行やむなし」一月二十日より実施
〔税の公平を期するため一月二十日から二月二十五日の間を「町税滞納整理期間」として町税滞納者を一括することに決定いたしましたから御協力下さるようお願いいたします。〕
- 金木町広報委員会発足 期待される今後の活躍
〔自治行政を町民の友情と好意で形成させると共に町民の信頼と理解を深めさせるため町当局では昨年十二月町の有識者から広報活動に必要な人材を求めて「金木町広報委員会」を設置しました。〕
- 投書函を備付け町民の声を聞く
〔当局では近く次の個所に投書箱を常時備付け皆様の声をお聞きするつもりで御座います。金木駅入口 寺町高元呉服店横 小川町郵便函横 川倉白金商店前 藤枝村田商店前 蒔田中商店前 役場告知板〕
- 届けなければ六千円損をする牛馬の籍
〔二月の農家の所得税確定申告の際牛や馬を所有しているながらその籍を届けていない方は、申告書に現在牛馬を飼養している旨を記入して提出しても控除は認められませんから一月末まで必ずお届け下さい。牛馬一頭の控除が認められない場合は六千円程度の税金を多くとられることとなります。〕
- 米の増収に専念 努力賞に輝く 沢部 白川竹治氏
〔十二月十二日青森市消防会館で行われた第四回米増収共進会褒賞授与式において、一年間の労苦が報いられ、沢部白川竹治氏(二九)に努力賞が授与された。〕
- 十三年統計に従事 川端町の角亮さん表彰
〔川端町角田亮吉さん(六四)は過日島根県松江市で開催された第三回全国統計大会で財団法人全国統計協会連合会長から統計功労者として表彰され記念品として松江市特産の袖師焼花瓶を贈られたが、二日金木町役場で伝達式が行われた。〕

新年にあたり工藤会長のあいさつを紹介します。

新年明けましておめでとうございます

本年も東京ふるさと金木会をよろしくお願ひ申し上げます。東京は雪もなく天候に恵まれ穏やかな新年を迎えました。

昨年6月29日東京ふるさと金木会発足10周年総会（東京中野サンプラザ）には鳴海町長、町議会の議員の皆様、ご多忙のところご出席いただきました。あらためてお礼申し上げます。

また、商工会婦人部の皆さんの古里の物産店、津軽手踊りの見事さ記念の総会、懇親会を盛り上げていただきました。本当にありがとうございます。（今年もよろしくお願ひします。）

本年も芦野公園の桜まつりにテントを張る予定です。昨年は無料甘酒約2500杯を花見客、観光客に飲んで頂き大変喜ばれました。

12月13日に東京秋葉原「万世」にて忘年会を開催しました。約50名の出席でした。忘年会は招待客無の純粋金木の集まりです。久しぶりに金木弁が飛び交い大変な盛り上がりでした。

さて、私共古里を離れた者たちにとって関心の高い町村合併ですが金木町の名前がとりあえず残るようなのでちょっとほっとしている所です。

古里金木町と古里の皆様が幸せな年であります様祈念して新年の挨拶といたします。

平成16年元旦

東京ふるさと金木会会長 工藤 源次郎

【東京ふるさと金木会事務局】 〒170-0002 東京都豊島区巢鴨1-3-22 アドニス天野2F
加藤税理士事務所内 TEL 03-3942-8825・FAX 03-3942-9171

国民年金情報

国民年金保険料の未納について

国民年金保険料を未納のままにしておくと、将来受け取る老齢基礎年金が減額されるだけでなく、受け取れなくなる場合があります。また、不慮の事故や病気で障害が残って動けなくなった時に支給される障害基礎年金、不幸にも一家の働き手を手を失ったときに支給される遺族基礎年金も受け取ることができなくなる場合があります。

あなたの年金は将来に、また方が一の時に備えるものです。国民年金保険料の納付は、将来の大切な財産づくりです。納期を守って納めましょう。

○保険料 月額一三、三〇〇円 年額一五九、六〇〇円

不審な文書にご注意ください

日本国民年金協会の名を騙って年金受給者に対し、「現在、受給している年金額に誤りが発覚し、文書到達後三日以内に現金を郵送しないと年金の支給を停止するとともに東京地方裁判所に損害賠償請求の訴訟を提訴し、資産を差し押さえる。」といった不審な文書が送付される事例が発生していますので、十分注意してください。

今後、不審な文書や電話がありましたら最寄りの社会保険事務所に必ず確認してください。

学生納付特例制度について

二十歳以上の学生等の方は、本人の前年度の所得が六十八万円以下の場合、住所地の市町村において申請をして社会保険事務所の承認を受ければ、保険料の納付が猶予されます。申請は毎年必要で、承認期間は四月（または申請月の前月）から翌年の三月までとなります。また、学生納付特例の承認を受けてから十年以内であれば、保険料を追納することができますので卒業したら忘れずに追納してください。

詳しくは町、社会保険事務所へお問い合わせください。

金木病院の現状と将来

院長 杉山 讓

金 木・中里両町民の皆様、明けましておめでとうございませう。今年が皆様にとりましてよりよい年であることを祈念しております。

さ て、公立金木病院（以下、当院）は西北五地域の五つの自治体病院機能再編成（以下、病院再編）計画により、平成二十年には一部療養型ベッドを含む総ベッド数一二〇床、現在より六〇床減の内科系主体の病院に生まれ変わる予定です。診療内容の変更について簡単にいえば、外科がなくなるといことです。外科がなくなることによって両町民の皆様には、不安感を与えるかも知れませんが、外傷時の簡単な処置はこれまでと同様に行います。しかし、手術と名のつくものは、効率面、安全

面より凡て新築予定の中核病院（以下、中核病院）で行うこととなります。外科手術について経営の面よりみますと、例えば西北五地域の五病院で手術器具を準備するのは、誠に不経済です。一本の鉄で間に合うものが、五病院ですと五本必要になります。しかもこの五病院における一年間の全身麻酔下の一般外科、消化器外科手術の総数は、七〇〇〜八〇〇例で青森市民病院のそれとほぼ同数です。一病院の備品で間に合うものが、五倍とはいませんが二〜三倍必要だった訳です。同様に人員、特に人数の足りない医師数の面でも、余分に必要でした。こちらの面で、病院再編は改善につながる筈です。

ま た、最近の患者さんは、大病院指向が極めて強いようです。そのため、患者さんの希望に沿って手術を行うには、手術の大小に問わずある程度の規模の病院、すなわち中核病院程度の大きさ（予定では五〇〇床以上）が必要になります。前述した安全性の面からも、手術は外科医を集中させた中核病院で行うのが妥当と思われる。

さ て、病院再編により将来的に縮小が決まっている当院では、新しい職員を採用できないという大きな悩みがあります。現在の苦しい経済状況や病院再編時に余剰人員をださないことを考え、新人の採用は原則としてしておりません。そのため各分野で職員の高齢化が加速しています。新人が入らないということは、いずれの組織でも活力を失います。ベテランと若い人とのバランスが取れてこそ、組織は活性化します。業種別では特に看護師の高齢化と人員不足が深刻です。ここ二年間は定年退職者が出て、正規の補充は行わず、臨時採用しかしていません。臨時採用では、正看護師はほとんど来てくれません。そうしますと正看護師、準看護師のバランスがくずれ、さらに人員不足のため基準看護料を取れないという新たな問題が持ち上がりました。そのため今回、患者数の減少という問題もありました。針を立てました。つまり不足していた一病棟当たりの看護師数を、基準値まで戻したという事です。全く姑息的な苦肉の策です。

患 者数減少の第一の原因は、患者さんの医療費の負担増です。そのため患者さんが受診を控え、患者数の減少につながりました。第二は追い討ちをかけるように、常勤内科医一名が病気のため長期入院をしてしまったことです。大学からの応援でようやく楽んでいるのが現状で、残りの常勤内科医では多くの入院患者さんまで手が回りません。まるで武器のない兵隊で戦をしているようなものです。第三は今年三月まで勤務していた内科医が、隣町で開業したことです。患者さんに好かれた有能な内科医であっただけに、当院のような限られた小さな地域にある病院では、その影響は大きかったようです。その結果、病院の看板診療科である内科の外来患者数および入院患者数が減少し、ひては病院全体の患者数の減少、経営の悪化へとつながりました。

病 院経営悪化の原因は、患者数の減少にあります。何といっても診療報酬の値下げでした。これまでと同じような患者数、同じような診療内容では、確実に病院収入が減りました。

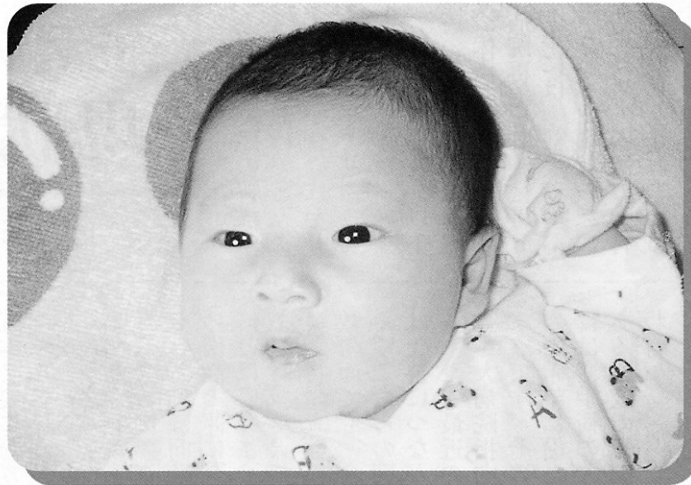
明 るい話題の少なかった平成十五年でしたが、幸いなことに平成十六年一月五日から新しい常勤内科医（一般内科、消化器専門）が名古屋から参ります。さらに四月一日からは三〜十二カ月の短期交代であった内科医一名に替わり、ベテランの常勤内科医（一般内科、消化器専門）が秋田市から加わることになっていきます。これまで現在常勤の内科医（一般内科、循環器、消化器専門）、さらに大学から応援の内科医と合わせ、当院内科はバランスの取れた陣容になる筈です。また、長期病欠の内科医の復帰も一月中に実現しそうですので、診療および病院経営に関しては、平成十六年度からは明るい展望が持てそうです。

昨 年の十二月十二日に金木町公民館で当院の忘年会を行いました。その際、当院活性化の一助として職員士の士気を鼓舞するため、診療水準の進歩や患者サービスの向上などに寄与した者に、金木病院奨励賞を与えました。その中で外来診療開始前に看護師および事務職員が行っている「患者さんに対する朝の挨拶」が上がっていました。当院を受診された患者さんには極めて好評のようでした。いづれにしても、患者さんに対する接遇のさらなる改善、病院経営の改善を実現すべく、職員一同がこれまで以上に頑張りますので、両町民の皆様のご支援を宜しく願います。また、健康教室など両町民の皆様のご要望があれば、できるだけ担当職員を派遣致しますので、大いに当院をご活用ください。

はじめまして

姉妹仲良く、健康に育ってください

(父 鉄也・母真吏より)



開坂 真衣ちゃん
(十二月十日生)

戸籍の窓 [12月届出分]

田中 昇 (48才) 金木	田中 嘉右衛門 (91才) 金木	間山 ハルエ (74才) 嘉瀬	山形 茂之進 (99才) 川倉	佐藤 伍 (62才) 金木	おくやみ	三 鴻 由美子 (久雄) 金木	米谷 貴之 (茂) 金木	木村 千鶴 (久美) 木造町	泉谷 聡 (忠信) 金木	おしあわせに	開坂 真衣 (鉄也) 金木	おめでとう
---------------	------------------	-----------------	-----------------	---------------	------	-----------------	--------------	----------------	--------------	--------	---------------	-------

この欄は金木町に住所を有している方々を掲載しています。掲載を希望しない方は町民課窓口
に届出の際申し出てください。

人口と世帯

	12月末現在	前年同月比
男	5,535人	△ 90人
女	6,183人	△ 60人
計	11,718人	△ 150人
世帯数	4,080	15

このコーナーを利用したい方は企画観光課まで

◎ 税務課からお知らせ
町では、二月十六日(月)から三月十五日(月)まで、役場三階大会議室で住民税の申告を受付けします。(税務署に申告される方は必要ありません。)対象となる方は、期間内に印鑑等必要なものを持参のうえ申告するようお願いいたします。

伝言板